

WebSAM DeploymentManager Ver6.0

SQL Server 2008 R2 製品版のデータベース構築手順書

—第 1 版—

改版履歴

版数	改版日付	改版内容
1	2011/06/10	新規作成

目次

1. SQL Server 2005 Express からSQL Server 2008 R2 製品版へのアップグレード	5
1.1. 「.NET Framework 3.5 SP1」と「Microsoft Windows Installer 4.5」のインストール	5
1.2. SQL Server 2008 R2製品版へのアップグレード	8
2. SQL Server 2008 R2 ExpressからSQL Server 2008 R2製品版へのアップグレード	14
3. SQL Server 2008 R2製品版へのデータベース(DPMインスタンス)の構築/設定	20
3.1. データベース(DPMインスタンス)の構築	20
3.2. DPMサーバのインストール	27
4. アンインストール	28
4.1. データベース(DPMインスタンス)のアンインストール	28

商標について

- ・ WebSAMIは日本電気株式会社の登録商標です。
- ・ Microsoftは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

はじめに

本書は、DeploymentManager(以下、DPM)でSQL Server 2008 R2製品版を使用するための手順書です。
DPMでは、管理対象マシンの情報などの管理用にMicrosoft社が無償で提供しているSQL Server 2008 R2 Expressを使用していますが、有償のSQL Server 2008 R2 Standard/Enterprise/Datacenter (※1)を使用する方法について説明します。

※1

本書では、以下の製品を「SQL Server 2008 R2 製品版」と表記します。
Microsoft SQL Server 2008 R2 Standard/Enterprise/Datacenter

[対象製品]

- ・WebSAM DeploymentManager Ver6.0
 - ・WebSAM DeploymentManager Ver6.0 for SSC(※)
- ※SigmaSystemCenter、VirtualPCCenterに同梱している製品となります。

ヒント

本書で説明しているインストール手順以外は、インストレーションガイドを参照してください。
DPMの最新のインストレーションガイドは、以下の製品サイトから入手できます。

- ・WebSAM DeploymentManager
(http://www.nec.co.jp/middle/WebSAM/products/deploy_win/)
- ・SigmaSystemCenter
(<http://www.nec.co.jp/middle/WebSAM/products/SigmaSystemCenter/>)
- ・SQL Server 2008 R2
([http://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/bb418432\(v=SQL.10\).aspx/](http://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/bb418432(v=SQL.10).aspx/))

ご使用の環境によりインストール手順が異なりますので、該当箇所を参照してインストールしてください。

- ・DPMを構築済みの環境でデータベース(DPM インスタンス)をSQL Server 2005 Express からSQL Server 2008 R2 製品版にアップグレードする場合は、「1 SQL Server 2005 からSQL Server 2008 R2 製品版へのアップグレード」を参照してください。
 - ・DPM 構築済みの環境で、SQL Server 2008 R2 Express からSQL Server 2008 R2 製品版にアップグレードする場合は、「2 SQL Server 2008 R2 Express からSQL Server 2008 R2 製品版へのアップグレード」を参照してください。
- SQL Server 2008 R2製品版を新規インストールする場合は、「3 SQL Server 2008 R2製品版へのデータベース(DPMインスタンス)の構築/設定」を参照してください。

1. SQL Server 2005 Express から SQL Server 2008 R2 製品版へのアップグレード

本章では、構築済みのデータベース(DPMインスタンス)をSQL Server 2005 ExpressからSQL Server 2008 R2製品版にアップグレードする手順について説明します。

SQL Server 2008 R2製品版をインストールする前に、「.NET Framework 3.5 SP1」と「Microsoft Windows Installer 4.5 以上」をインストールする必要があります。これらがインストールされていない場合は、「1.1 「.NET Framework 3.5 SP1」と「Microsoft Windows Installer 4.5」のインストール」を参照し、インストールしてください。

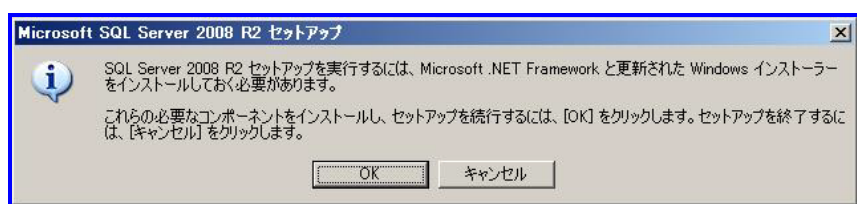
既に「.NET Framework 3.5 SP1」と「Microsoft Windows Installer 4.5」がインストールされている場合は、「1.2 SQL Server 2008 R2製品版へのアップグレード」を参照し、アップグレードしてください。

注意

- DPM Ver6.0 for SSC を使用している場合は、「SigmaSystemCenter インストレーションガイド」を参照してください。
(<http://www.nec.co.jp/middle/WebSAM/products/SigmaSystemCenter/download.html>)
- SQL Server 2008 R2 製品版へアップグレードを行う前に、以下の URL を参照してアップグレードについての注意事項を確認してください。
Microsoft TechNet
([http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/ms143393\(SQL.105\).aspx](http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/ms143393(SQL.105).aspx))

1.1. 「.NET Framework 3.5 SP1」と「Microsoft Windows Installer 4.5」のインストール

- (1) インストールするマシンに、管理者権限を持つユーザでログインします。
- (2) SQL Server 2008 R2 製品版の CD(1 枚目)、または DVD を(DVD/CD-RW)ドライブにセットします。
「Microsoft SQL Server 2008 R2 セットアップ」画面が自動的に起動しますので、「OK」ボタンをクリックします。
(自動的に起動しない場合は、手動でインストール媒体の「Setup.exe」をダブルクリックして、「Microsoft SQL Server 2008 R2 セットアップ」画面を起動させてください。)



- (3) 「.NET Framework 3.5 SP1」インストール画面が起動しますので、「同意する」を選択して、「インストール」ボタンをクリックします。「.NET Framework 3.5 SP1」のインストールが始まります。



- (4) 「.NET Framework 3.5 SP1」のインストールが完了すると、「セットアップが完了しました」画面が表示されますので、「終了」ボタンをクリックします。



- (5) 次に、「Microsoft Windows Installer 4.5」をインストールします。

「Microsoft Windows Installer 4.5」は、OSによってインストール状況(※1)が異なりますので、下記の表を参照して、インストールが必要な場合は、「次へ」ボタンをクリックします。

OS名	インストール状況
Windows Server 2003	未インストール
Windows Server 2003 x64	未インストール
Windows Server 2008	未インストール
Windows Server 2008 x64	未インストール
Windows Server 2008 R2	インストール済

※1

Windows Server 2008 R2の場合、デフォルトでMicrosoft Windows Installer 4.5がインストールされているため、この手順は必要ありません。「1.2 SQL Server 2008 R2製品版へのアップグレード」へ進んでください。



※画面はWindowsServer2003 x86の場合です。

- (6) 「使用許諾契約」画面が起動しますので、「同意します」を選択して、「次へ」ボタンをクリックしてください
「Microsoft Windows Installer 4.5」のインストールが始まります。



- (7) 「Microsoft Windows Installer 4.5」のインストールが完了すると、「インストールウィザードの完了」画面が表示されますので、「完了」ボタンをクリックします。



- (8) 下記の画面が表示されますので、「OK」ボタンをクリックして、管理サーバを再起動してください。



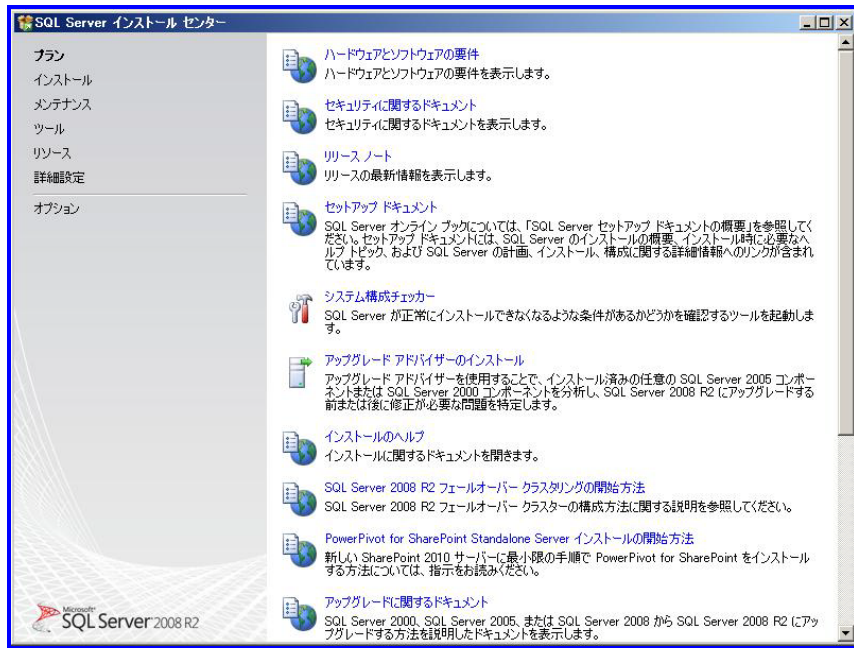
1.2. SQL Server 2008 R2 製品版へのアップグレード

以下の手順は、「.NET Framework 3.5 SP1」と「Microsoft Windows Installer 4.5」がインストールされている場合を前提に記載します。

- (1) データベース(DPM インスタンス)がインストールされたマシンに、管理者権限を持つユーザでログインします。
- (2) 「スタート」メニュー→「コントロールパネル」→「管理ツール」→「サービス」を選択します。
- (3) 「サービス」画面が表示されますので、表示されたサービスの一覧から「DeploymentManager」で始まる名前のサービスをすべて停止します。

1 SQL Server 2005 Express から SQL Server 2008 R2 製品版へのアップグレード

- (4) SQL Server 2008 R2 製品版の CD(1 枚目)、または DVD を(DVD/CD-RW)ドライブにセットします。
「SQL Server インストールセンター」画面が自動的に起動します。
(自動的に起動しない場合は、手でインストール媒体の「Setup.exe」をダブルクリックして、「SQL Server インストールセンター」画面を起動してください。)

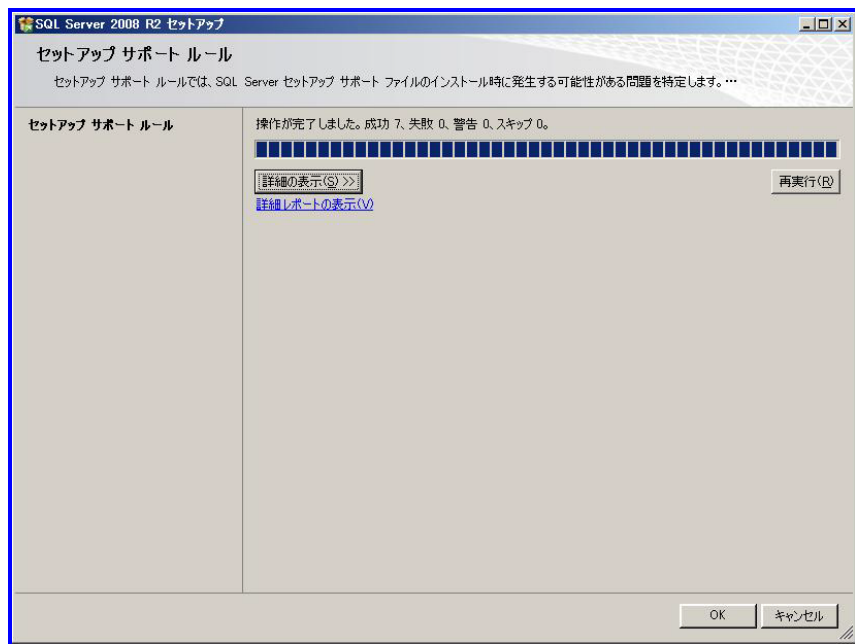


- (5) 「SQL Server インストールセンター」画面の「インストール」をクリックして、「SQL Server 2000、SQL Server 2005、または SQL Server 2008 からのアップグレード」をクリックします。

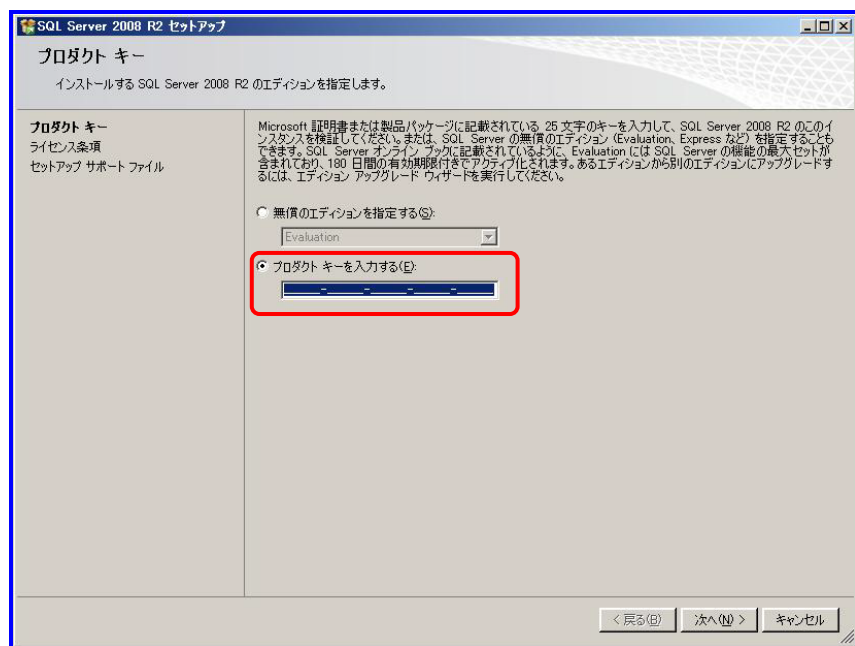


1 SQL Server 2005 Express から SQL Server 2008 R2 製品版へのアップグレード

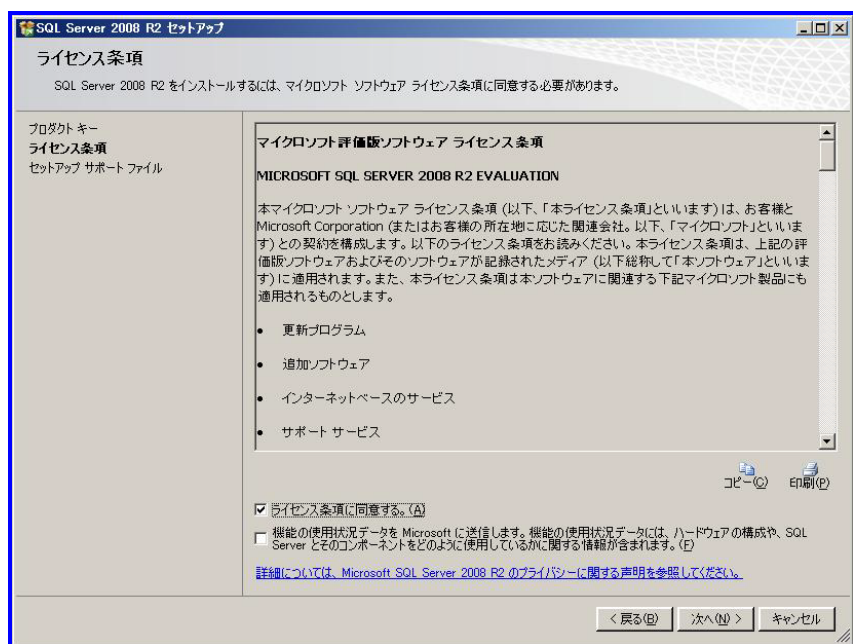
(6) 「セットアップサポートルール」画面が表示されますので、環境チェック完了後、「OK」ボタンをクリックします。



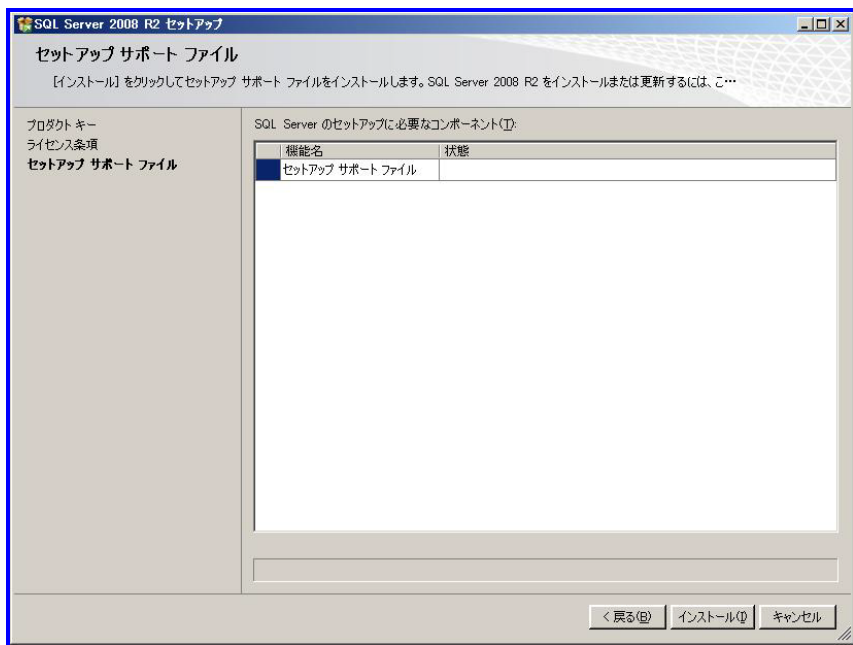
(7) 「プロダクトキー」画面が表示されますので、「プロダクトキーを入力する」を選択して、プロダクトキーを入力後、「次へ」ボタンをクリックします。



- (8) 「ライセンス条項」画面が表示されますので、「ライセンス条項に同意する」チェックボックスにチェックを入れて、「次へ」ボタンをクリックします。

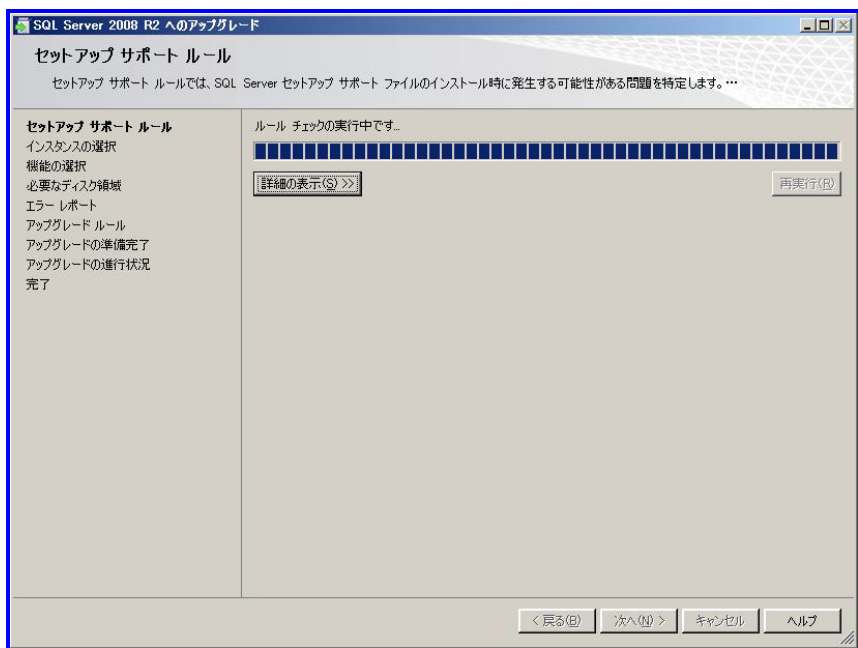


- (9) 「セットアップサポートファイル」画面が表示されますので、「インストール」ボタンをクリックして、セットアップサポートファイルをインストールします。

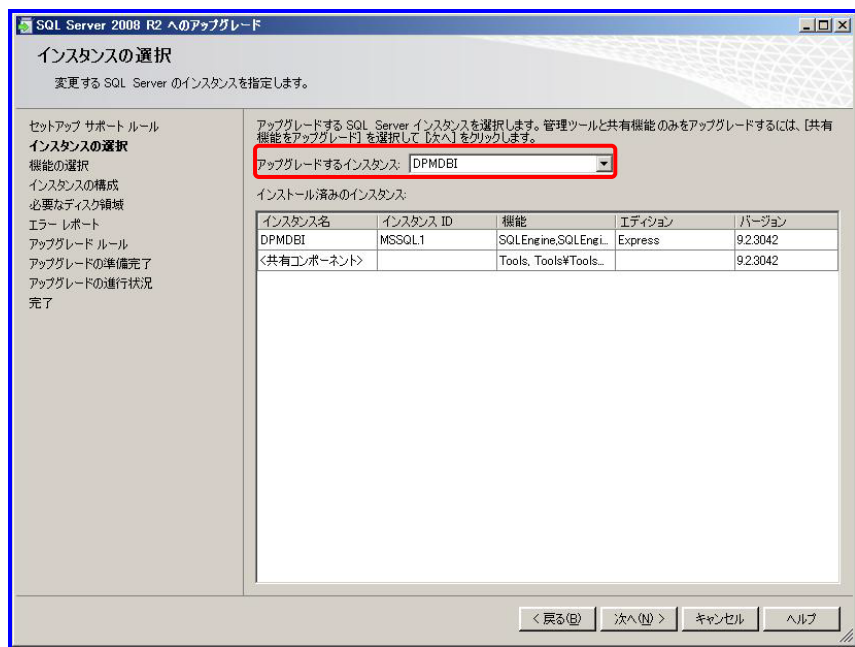


1 SQL Server 2005 Express から SQL Server 2008 R2 製品版へのアップグレード

- (10) 「セットアップサポートルール」画面が表示されますので、ルールチェックの実行完了後、「次へ」ボタンをクリックします。



- (11) 「インスタンスの選択」画面が表示されますので、「アップグレードするインスタンス」から「DPMDBI」を選択して、「次へ」ボタンをクリックします。

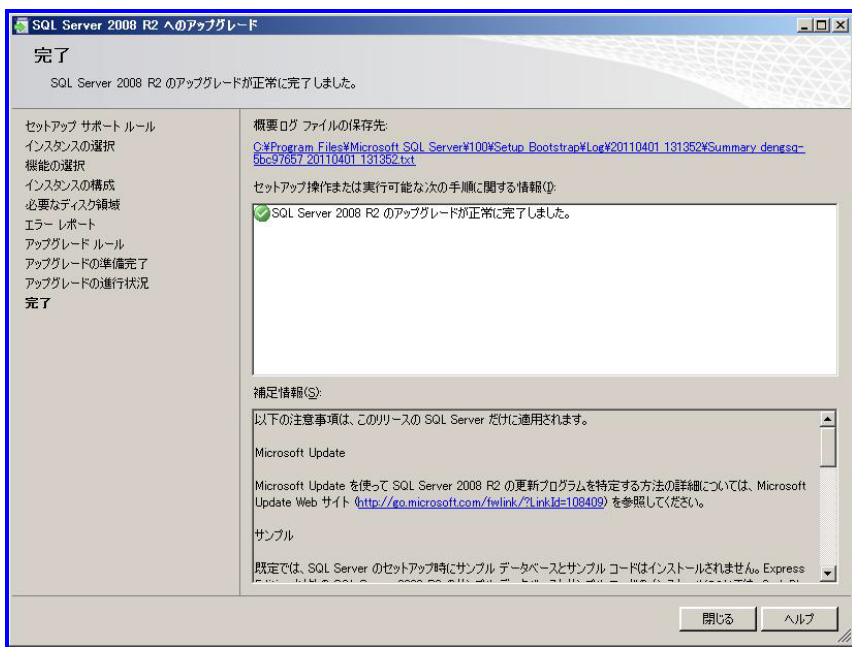


1 SQL Server 2005 Express から SQL Server 2008 R2 製品版へのアップグレード

- (12) 「アップグレードの準備完了」画面が表示されますので、「アップグレード」ボタンをクリックします。
SQL Server 2008 R2製品版へのアップグレードが始まります。



- (13) SQL Server 2008 R2 製品版へのアップグレードが完了すると、「完了」画面が表示されますので、「閉じる」ボタンをクリックします。



以上で、SQL Server 2005からSQL Server 2008 R2製品版へのアップグレードは完了です。

2. SQL Server 2008 R2 Express から SQL Server 2008 R2 製品版へのアップグレード

本章では、構築済みのデータベース(DPMインスタンス)をSQL Server 2008 R2 ExpressからSQL Server 2008 R2製品版にアップグレードする手順について説明します。

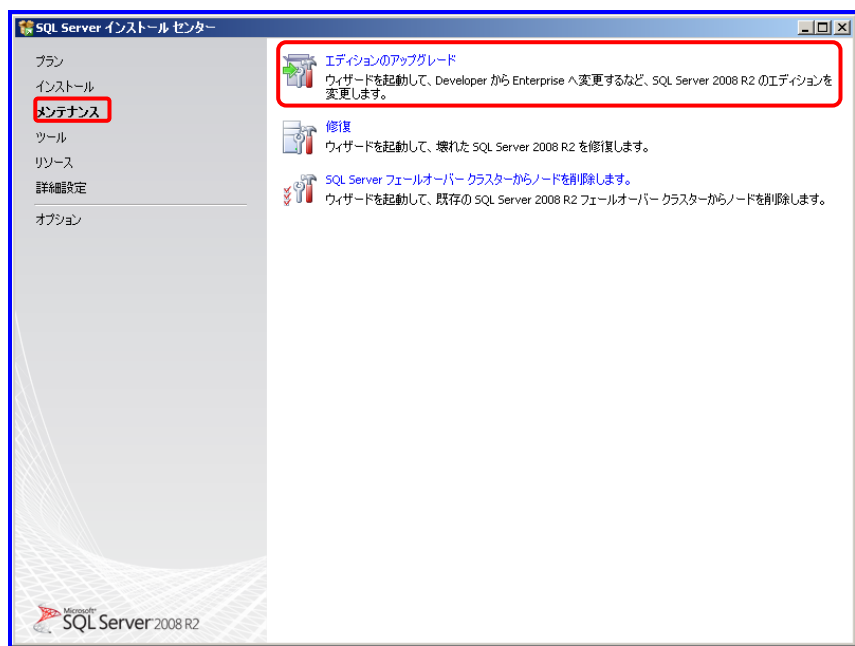
以下の手順は、「.NET Framework 3.5 SP1」と「Microsoft Windows Installer 4.5以上」がインストールされている場合を前提に記載します。これらがインストールされていない場合は、「1.1 「.NET Framework 3.5 SP1」と「Microsoft Windows Installer 4.5」のインストール」を参照し、インストールしてください。

- (1) データベース(DPM インスタンス)がインストールされたマシンに、管理者権限を持つユーザでログインします。
- (2) 「スタート」メニュー→「コントロールパネル」→「管理ツール」→「サービス」を選択します。
- (3) 「サービス」画面が表示されますので、表示されたサービスの一覧から「DeploymentManager」で始まる名前のサービスをすべて停止します。
- (4) SQL Server 2008 R2 製品版の CD(1 枚目)、または DVD を(DVD/CD-RW)ドライブにセットします。「SQL Server インストールセンター」画面が自動的に起動します。
(自動的に起動しない場合は、手でインストール媒体の「Setup.exe」をダブルクリックして、「SQL Server インストールセンター」画面を起動させてください。)

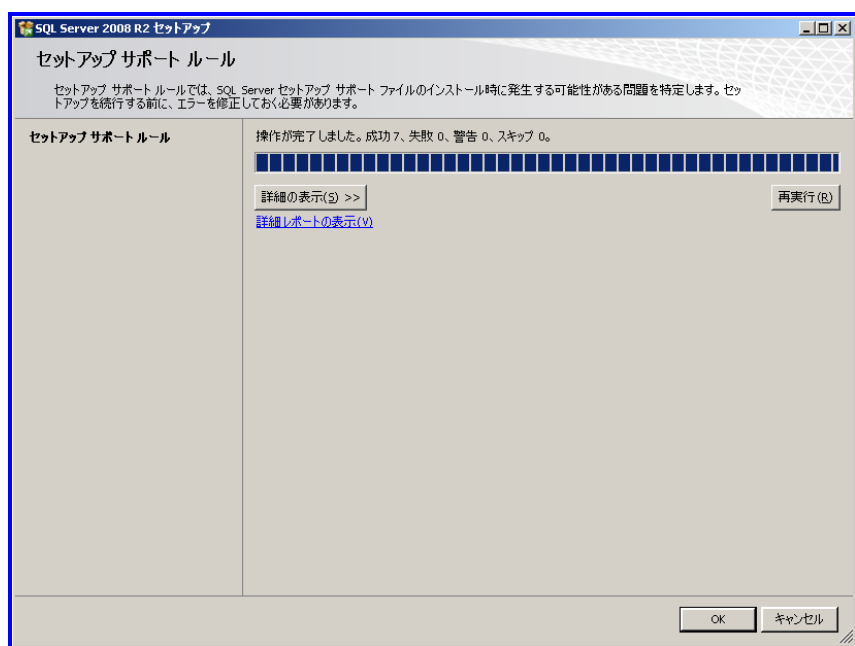


2 SQL Server 2008 R2 Express から SQL Server 2008 R2 製品版へのアップグレード

- (5) 「SQL Server インストールセンター」画面の「メンテナンス」をクリックして、「エディションのアップグレード」をクリックします。

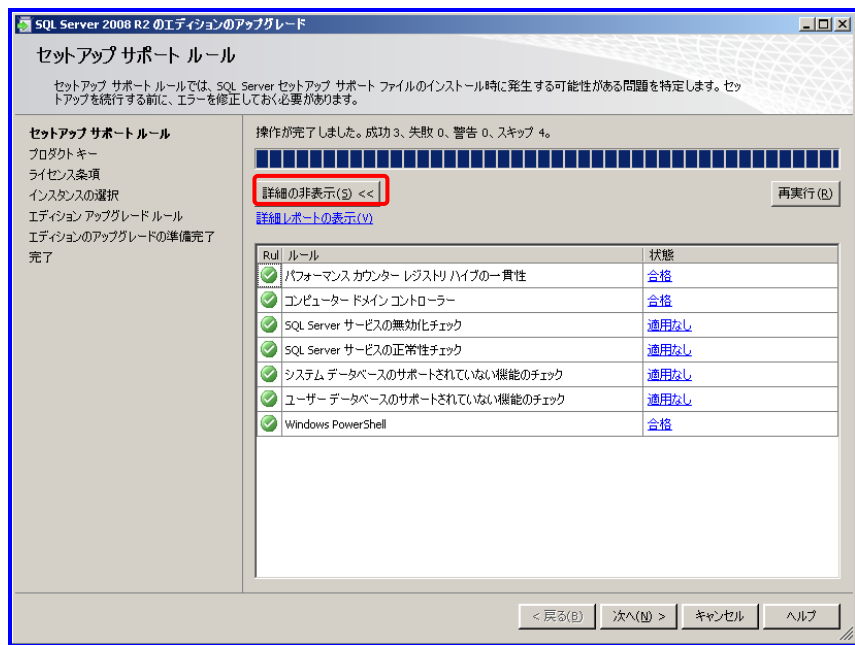


- (6) 「セットアップサポートルール」画面が表示されますので、環境チェック完了後、「OK」ボタンをクリックします。

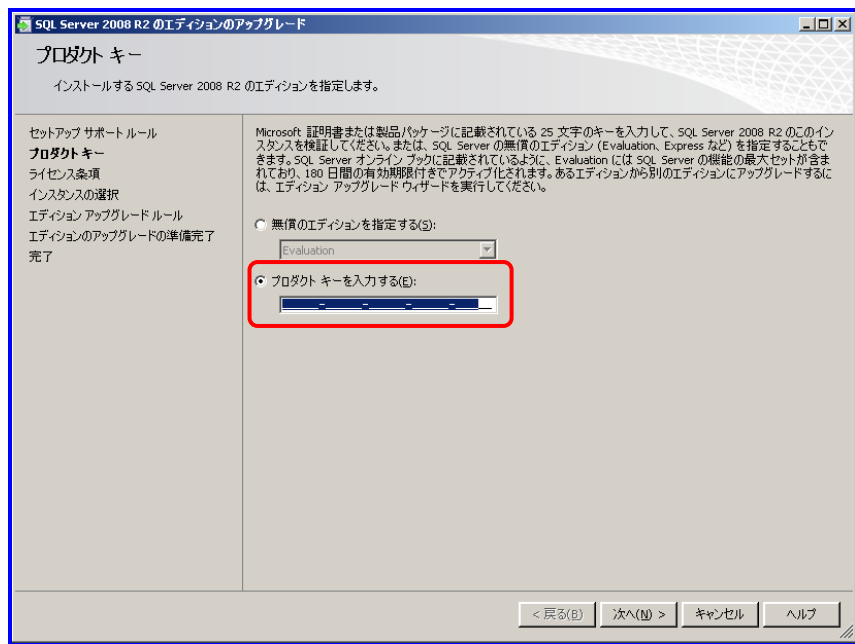


- (7) 「セットアップサポートルール」画面が表示されますので、「詳細の表示」ボタンをクリックします。チェック結果の中に、赤の×がなければ、「次へ」ボタンをクリックします。（「詳細の表示」ボタンをクリックすると、下の画面のように「詳細の非表示」ボタンに変わります。）

赤の×がある場合は、詳細レポートの表示により、原因を確認し、問題点を解消した上で再度、アップグレードの手順を実行してください。

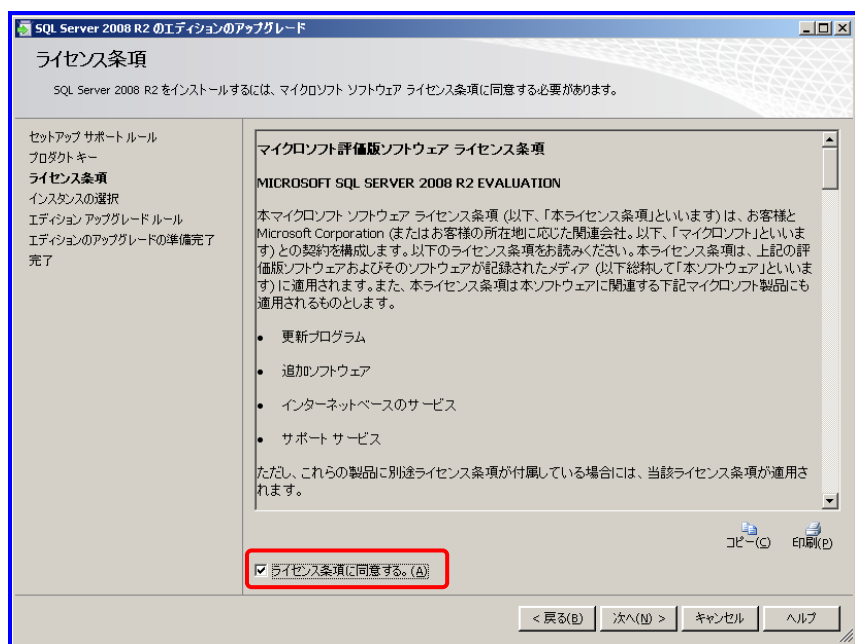


- (8) 「プロダクトキー」画面が表示されますので、「プロダクトキーを入力する」を選択してプロダクトキーを入力後、「次へ」ボタンをクリックします。

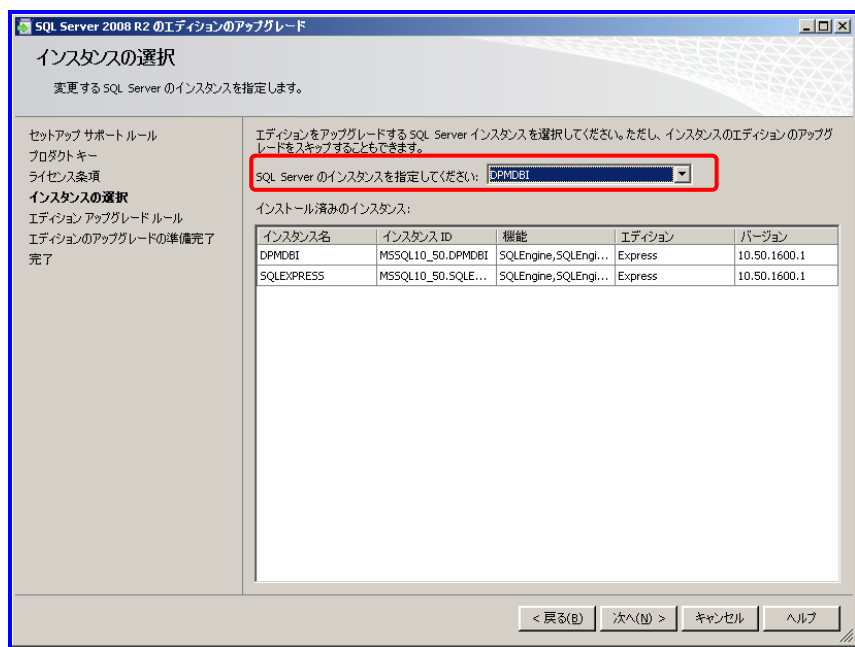


2 SQL Server 2008 R2 Express から SQL Server 2008 R2 製品版へのアップグレード

- (9) 「ライセンス条項」画面が表示されますので、「ライセンス条項に同意する」チェックボックスにチェックを入れて、「次へ」ボタンをクリックします。

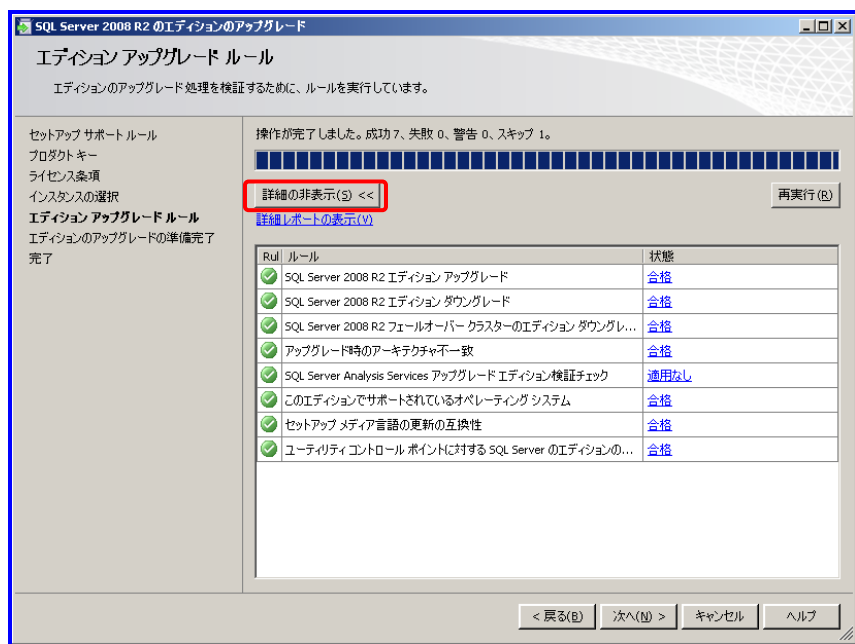


- (10) 「インスタンスの選択」画面が表示されますので、「アップグレードするインスタンス」から「DPMDBI」を選択して、「次へ」ボタンをクリックします。

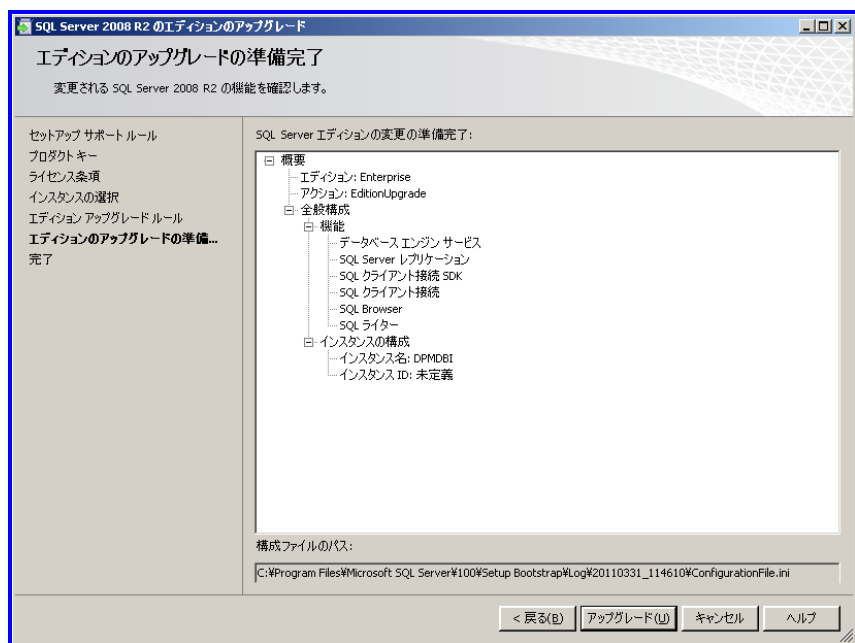


- (11) 「エディション アップグレード ルール」画面が表示されますので、「詳細の表示」ボタンをクリックします。チェック結果の中に、赤の×がなければ、「次へ」ボタンをクリックします。（「詳細の表示」ボタンをクリックすると、下の画面のように「詳細の非表示」ボタンに変わります。）

赤の×がある場合は、詳細レポートの表示により、原因を確認し、問題点を解消した上で再度、アップグレードの手順を実行してください。

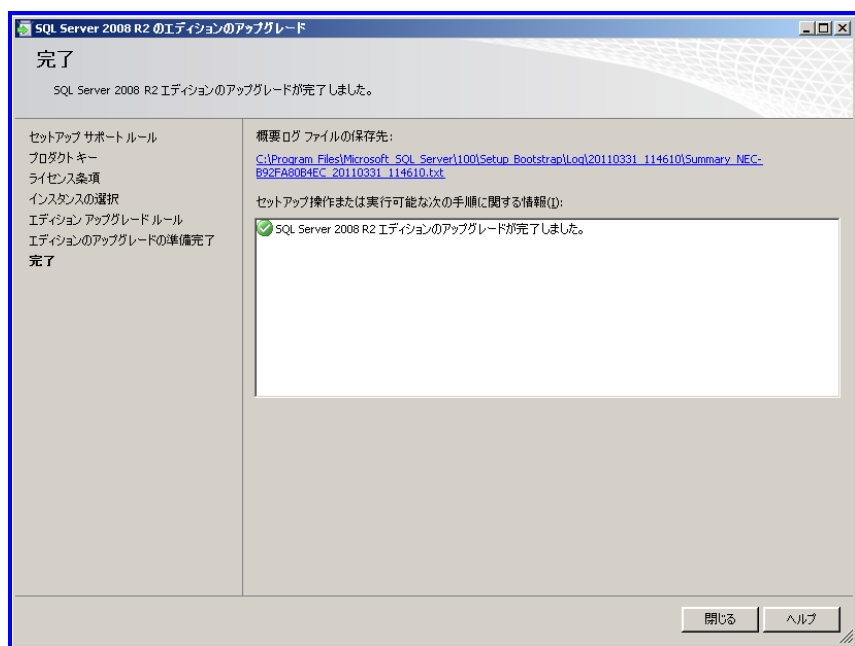


- (12) 「エディションのアップグレードの準備完了」画面が表示されますので、「アップグレード」ボタンをクリックします。



2 SQL Server 2008 R2 Express から SQL Server 2008 R2 製品版へのアップグレード

(13) SQL Server 2008 R2 製品版へのアップグレードが完了すると、「完了」画面が表示されますので、「閉じる」ボタンをクリックします。



以上で、SQL Server 2008 R2 ExpressからSQL Server 2008 R2製品版へのアップグレードは完了です。

3. SQL Server 2008 R2 製品版へのデータベース(DPM インスタンス)の構築/設定

本章では、SQL Server 2008 R2製品版を新規インストールし、データベース(DPMインスタンス)を構築/設定する手順について説明します。

データベース(DPMインスタンス)の構築前に、「.NET Framework 3.5 SP1」と「Microsoft Windows Installer 4.5 以上」をインストールする必要があります。これらがインストールされていない場合は、「1.1 「.NET Framework 3.5 SP1」と「Microsoft Windows Installer 4.5」のインストール」を参照し、インストールしてください。

既に「.NET Framework 3.5 SP1」と「Microsoft Windows Installer 4.5」がインストールされている場合は、「3.1 データベース(DPMインスタンス)の構築」に進んでください。

注意

DPMサーバをインストールする前に、「3.1 データベース(DPMインスタンス)の構築」を参照してデータベース(DPMインスタンス)を構築/設定する必要があります。
その後、「3.2 DPMサーバのインストール」を参照して、データベース(DPMインスタンス)と同じマシンにDPMサーバをインストールしてください。

3.1. データベース(DPMインスタンス)の構築

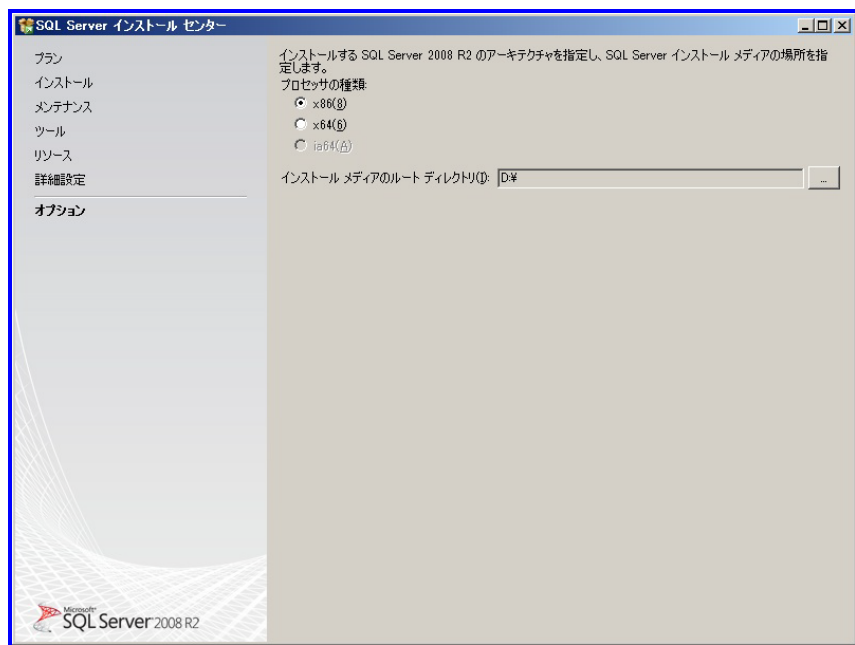
データベース(DPMインスタンス)の構築手順について説明します。

- (1) データベース(DPM インスタンス)を構築するマシンに、管理者権限を持つユーザでログインします。
- (2) SQL Server 2008 R2 製品版の CD(1 枚目)、または DVD を(DVD/CD-RW)ドライブにセットします。「SQL Server インストールセンター」画面が自動的に起動します。
(自動的に起動しない場合は、手でインストール媒体の「Setup.exe」をダブルクリックして、「SQL Server インストールセンター」画面を起動してください。



3 SQL Server 2008 R2 製品版へのデータベース(DPM インスタンス)の構築/設定

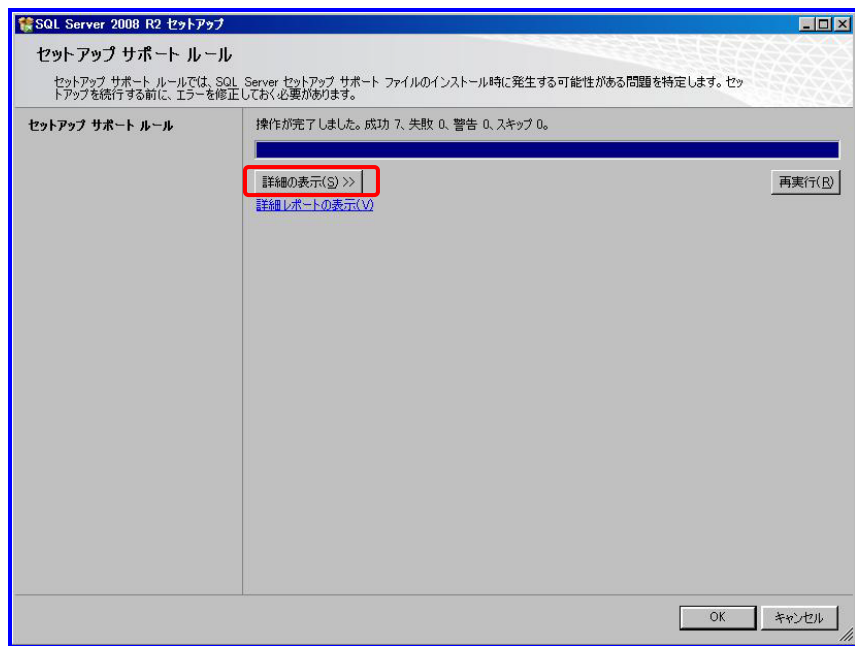
- (3) x64 の OS に SQL Server 2008 R2 製品版をインストールする場合は、「SQL Server インストールセンター」画面の「オプション」をクリックして、「プロセッサの種類」からインストールしたいプロセッサ種類を選択します。
(OS が x86 の場合、本手順は必要ありません)



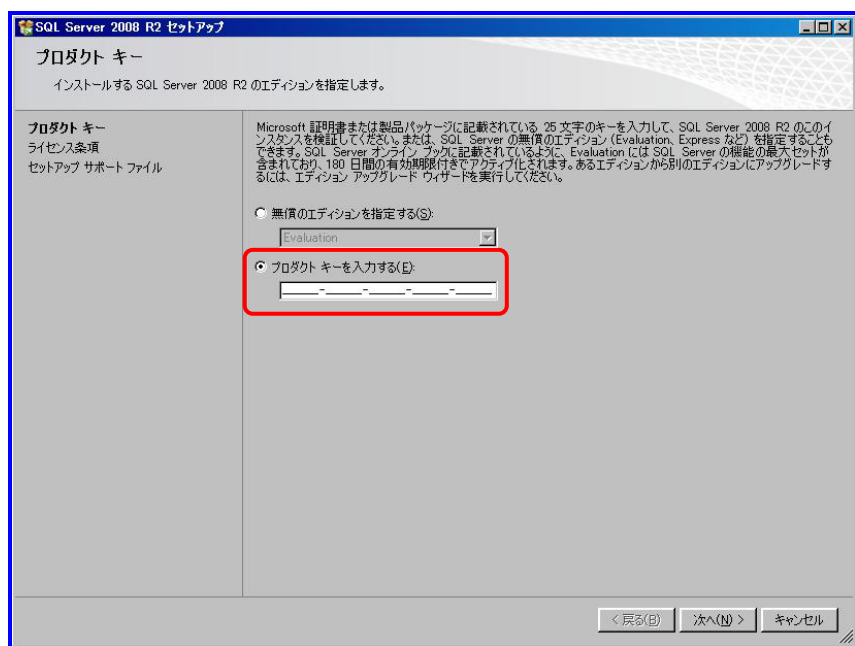
- (4) 「SQL Server インストールセンター」画面の「インストール」をクリックして、「新規インストールを実行するか、既存のインストールに機能を追加します」をクリックします。



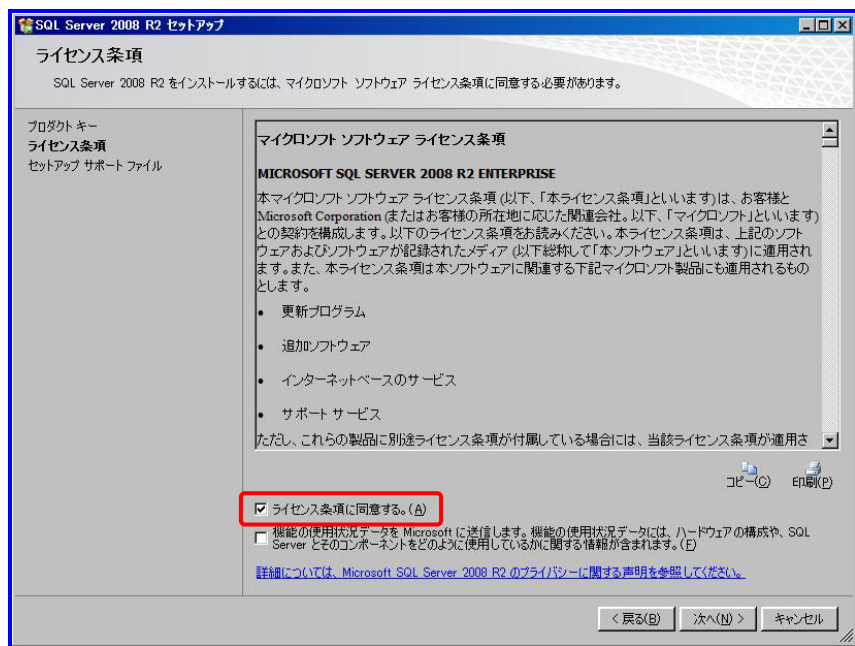
- (5) 「セットアップサポートルール」画面が表示されますので、環境チェック完了後、「OK」ボタンをクリックします。



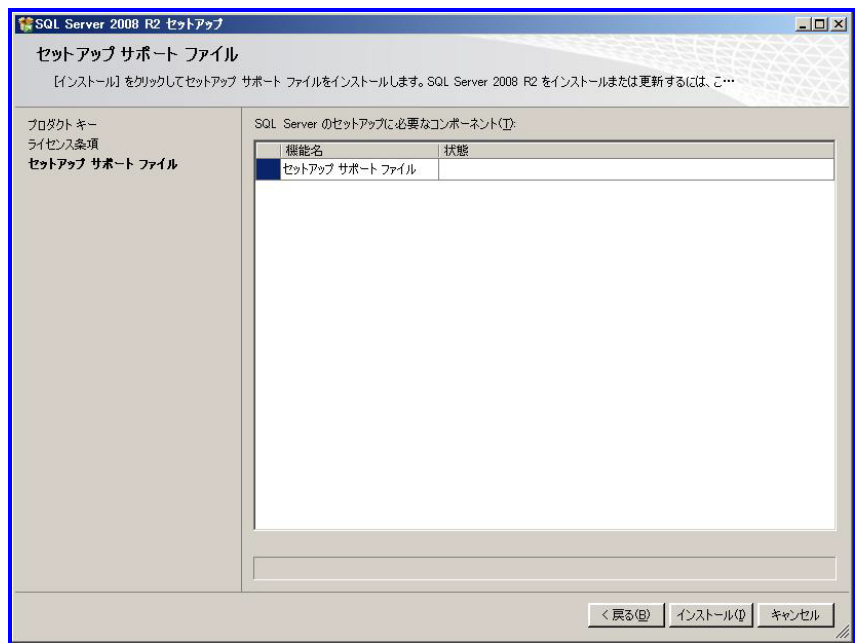
- (6) 「プロダクトキー」画面が表示されますので、「プロダクトキーを入力する」を選択して、プロダクトキーを入力後、「次へ」ボタンをクリックします。



- (7) 「ライセンス条項」画面が表示されますので、「ライセンス条項に同意する」チェックボックスにチェックを入れて、「次へ」ボタンをクリックします。

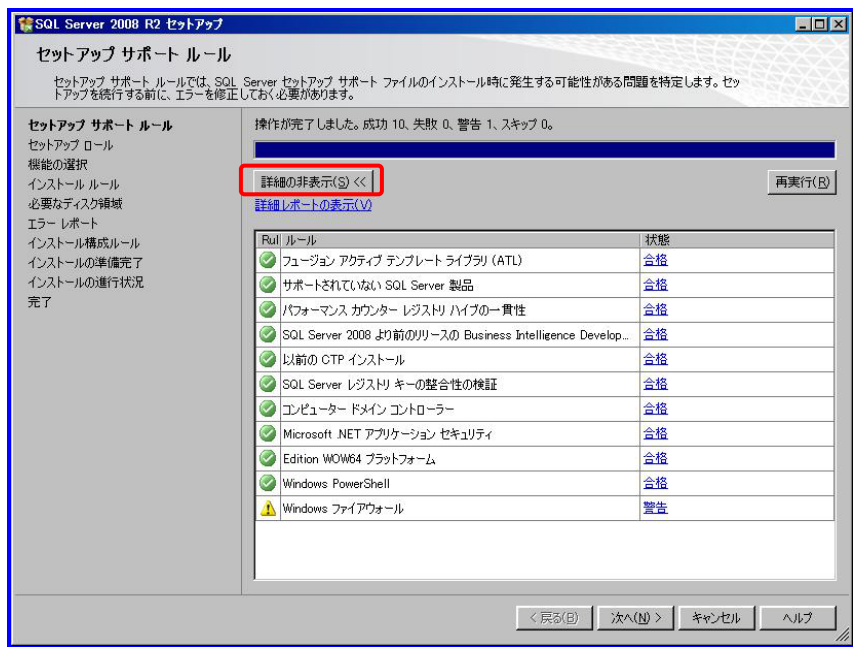


- (8) 「セットアップサポートファイル」画面が表示されますので、「インストール」ボタンをクリックして、セットアップサポートファイルをインストールします。

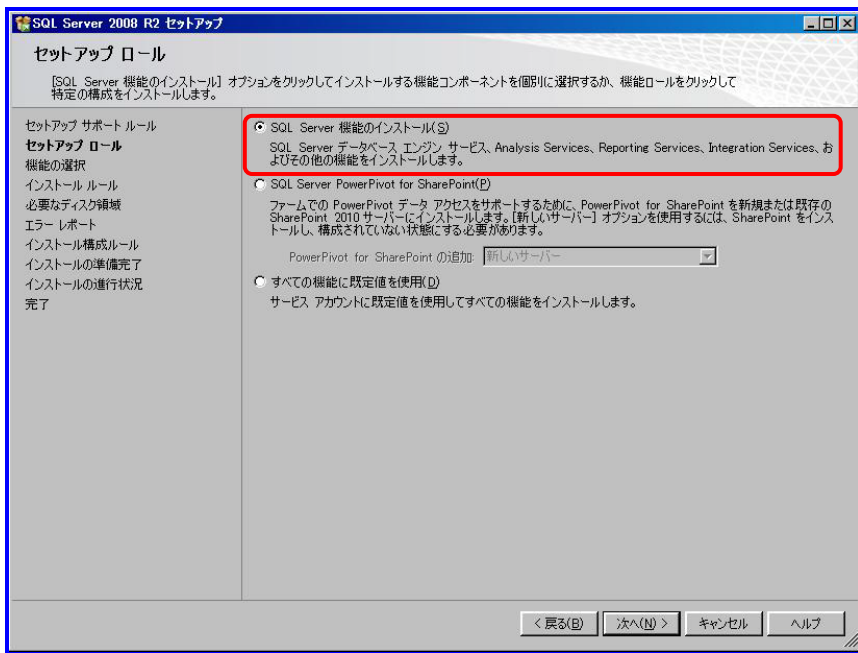


- (9) 「セットアップサポートルール」画面が表示されますので、「詳細の表示」ボタンをクリックします。チェック結果の中に、赤の×がなければ、「次へ」ボタンをクリックします。「詳細の表示」ボタンをクリックすると、下の画面のように「詳細の非表示」ボタンに変わります。）

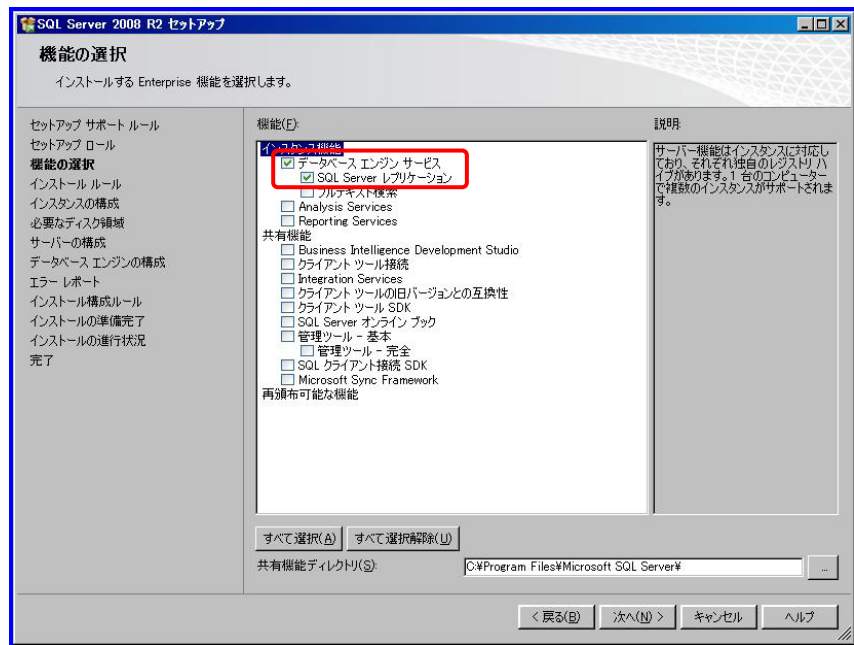
赤の×がある場合は、詳細レポートの表示により、原因を確認し、問題点を解消した上で再度、アップグレードの手順を実行してください。



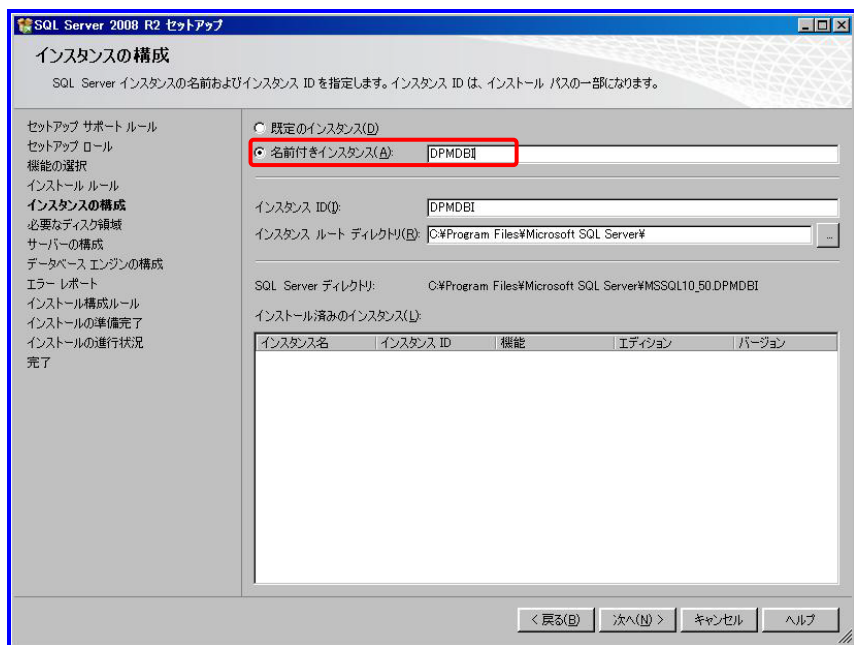
- (10) 「セットアップ ロール」画面が表示されますので、「SQL Server 機能のインストール」を選択して、「次へ」ボタンをクリックします。



- (11) 「機能の選択」画面が表示されますので、「データベース エンジン サービス」と「SQL Server レプリケーション」チェックボックスにチェックを入れて、「次へ」ボタンをクリックし、「インスタンスの構成」画面まで進みます。
他のコンポーネントをインストールしたい場合は、インストールするコンポーネントのチェックボックスにチェックを入れてください。

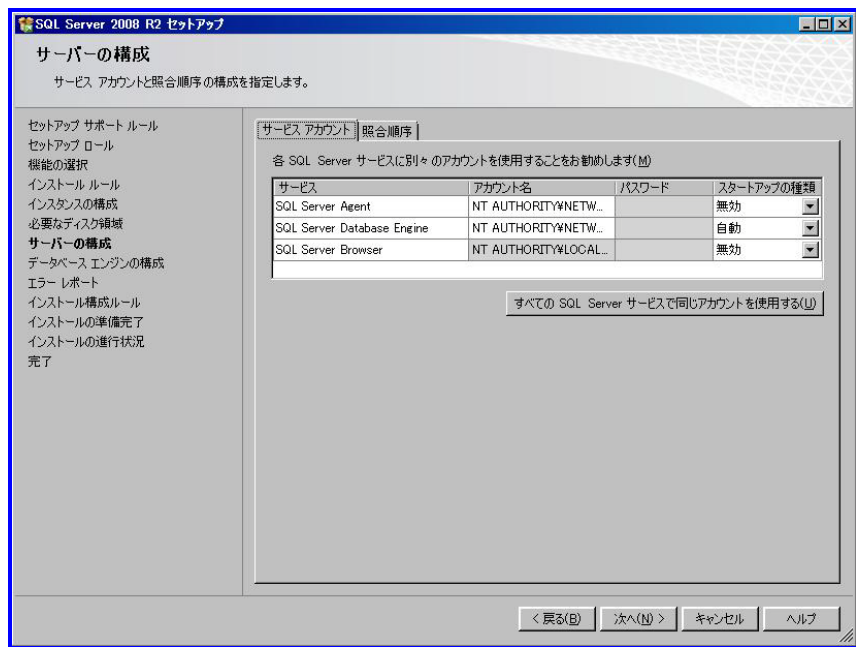


- (12) 「インスタンスの構成」画面が表示されますので、「名前付きインスタンス」ラジオボタンを選択して、「DPMDBI」を入力します。「次へ」ボタンをクリックし、「サーバーの構成」画面まで進みます。

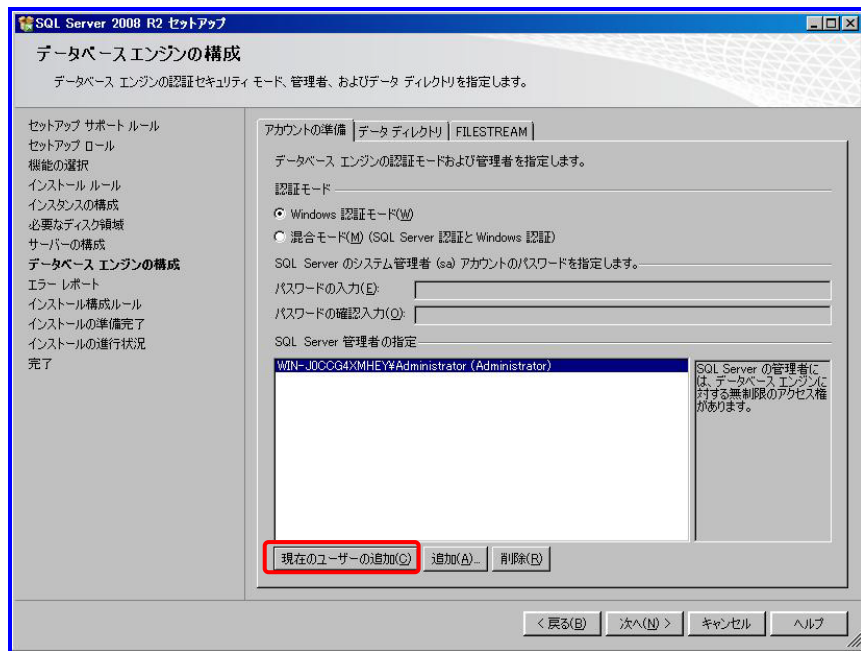


- (13) 「サーバーの構成」画面が表示されますので、「SQL Server Agent」と「SQL Server Browser」のスタートアップの種類を「無効」に設定します。

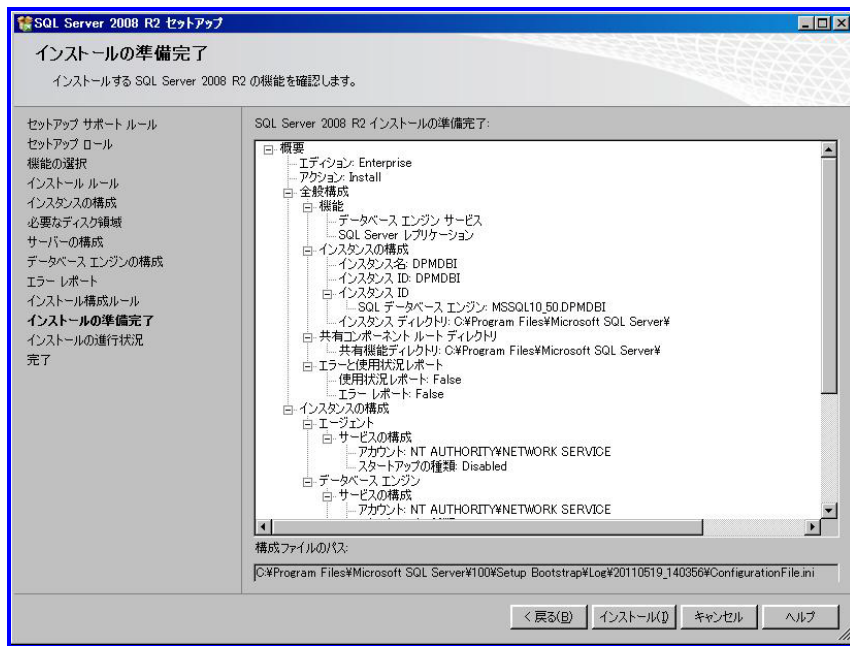
また、「SQL Server Agent」と「SQL Server Database Engine」のアカウント名を「NT AUTHORITY¥NETWORK SERVICE」に設定し、「次へ」ボタンをクリックします。



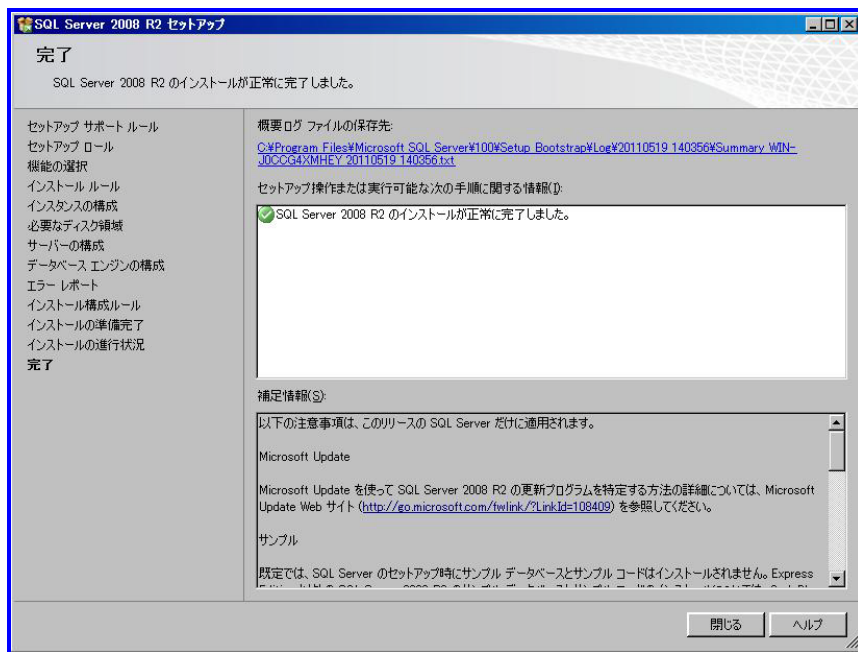
- (14) 「データベース エンジンの構成」画面が表示されますので、「現在のユーザーの追加」ボタンをクリック後、「次へ」ボタンをクリックし、「インストールの準備完了」画面まで進みます。



- (15) 「インストールの準備完了」画面が表示されますので、「インストール」ボタンをクリックします。SQL Server 2008 R2 製品版へのインストールが始まります。



- (16) SQL Server 2008 R2 製品版へのインストールが完了すると、「完了」画面が表示されますので、「閉じる」ボタンをクリックします。



以上で、データベース(DPMインスタンス)の構築は完了です。

3.2. DPMサーバのインストール

DPMサーバのインストールについては、「インストレーションガイド 2.1.1 DPMサーバを標準インストールする」を参照して、インストールしてください。

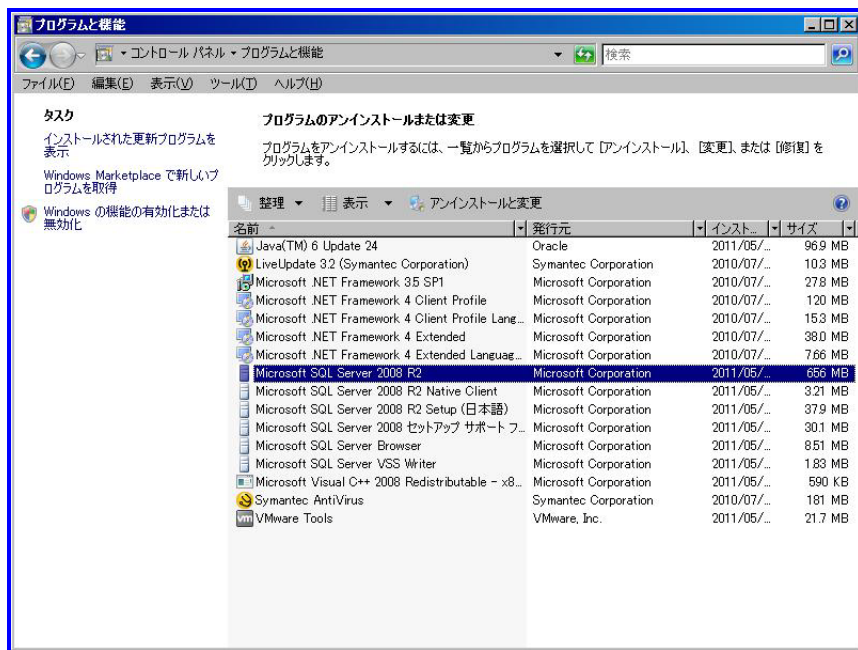
4. アンインストール

本章では、データベース(DPMインスタンス)をアンインストールする手順について説明します。

データベース(DPMインスタンス)以外のコンポーネントについては、「インストレーションガイド」を参照してください。

4.1. データベース(DPMインスタンス)のアンインストール

- (1) データベース(DPM インスタンス)が構築されたマシンに、管理者権限を持つユーザでログインします。
- (2) 「スタート」メニュー→「ファイル名を指定して実行」を選択して、「名前」に「regedit」を入力後、「OK」ボタンをクリックします。
- (3) 以下のレジストリの「データ」を確認します。
 - ・キー：
 - 64ビットOSへ32ビットSQLをインストールしている場合：
 - HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Wow6432Node¥NEC¥DeploymentManager_DB
 - 上記以外の場合：
 - HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥NEC¥DeploymentManager_DB
 - ・名前：DBInstallDir
 - ・データ：<DPMDBIインスタンスインストールフォルダ>¥MSSQL¥DATA
 例)：C:¥Program Files¥Microsoft SQL Server¥MSSQL10_50.DPMDBI¥MSSQL¥DATA
- (4) 「スタート」メニュー→「コントロールパネル」→「プログラムと機能」を選択して、「プログラムと機能」を開きます。

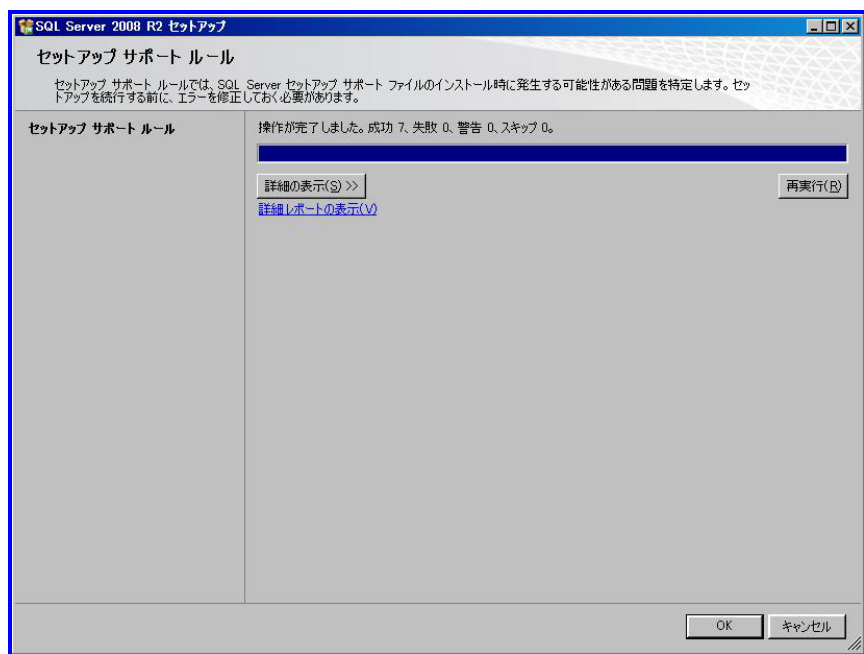


4 アンインストール

- (5) 「Microsoft SQL Server 2008 R2」を選択して、「アンインストールと変更」ボタンをクリックすると、下記の画面が表示されますので、「削除」をクリックします。

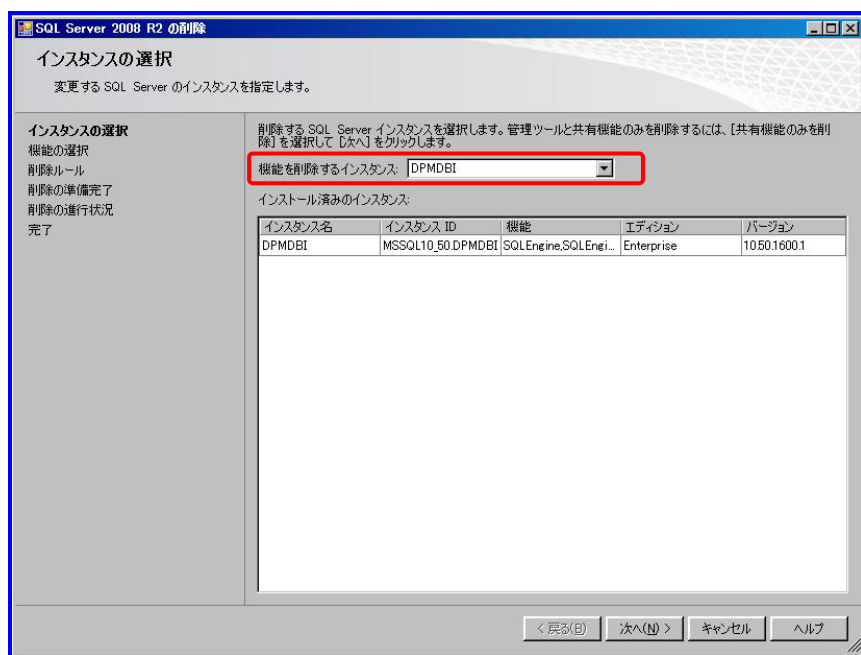


- (6) 「セットアップサポートルール」画面が表示されますので、環境チェック完了後、「OK」ボタンをクリックします。

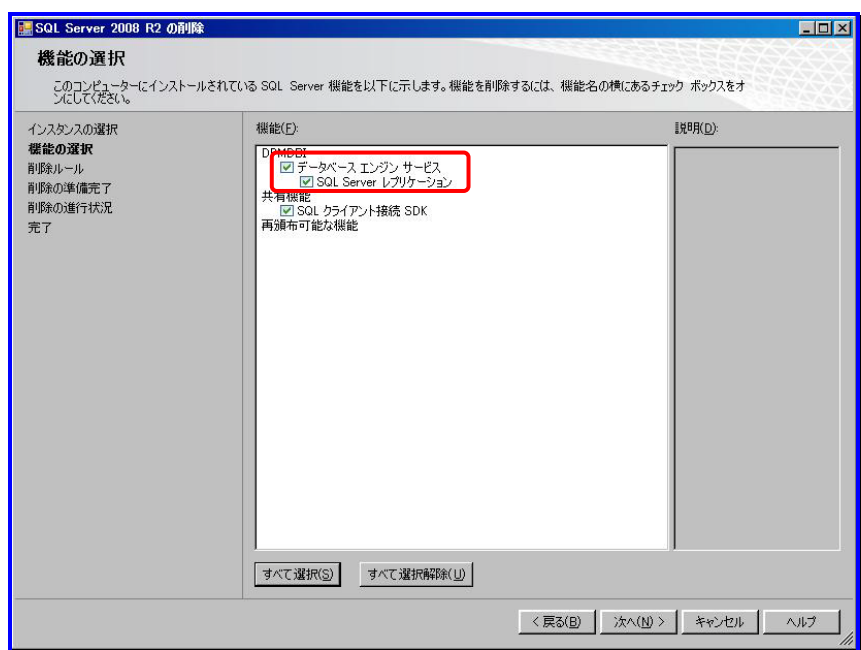


4 アンインストール

- (7) 「インスタンスの選択」画面が表示されますので、「機能を削除するインスタンス」から「DPMDBI」を選択して、「次へ」ボタンをクリックします。

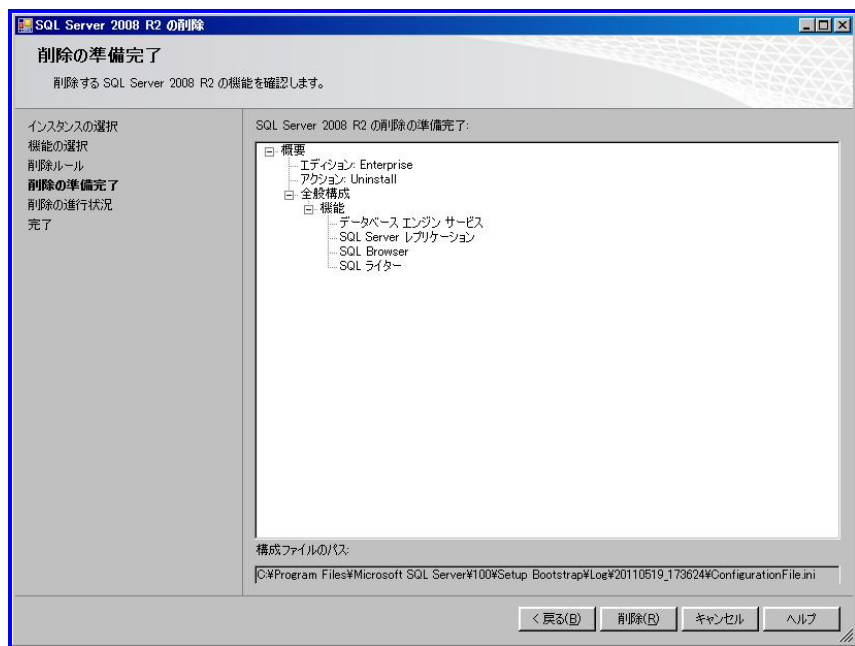


- (8) 「機能の選択」画面が表示されますので、「データベース エンジン サービス」と「SQL Server レプリケーション」と「SQL クライアント接続 SDK」チェックボックスにチェックを入れて、「次へ」ボタンをクリックし、「削除の準備完了」画面まで進みます。
他のコンポーネントをアンインストールしたい場合は、アンインストールするコンポーネントのチェックボックスにチェックを入れてください。

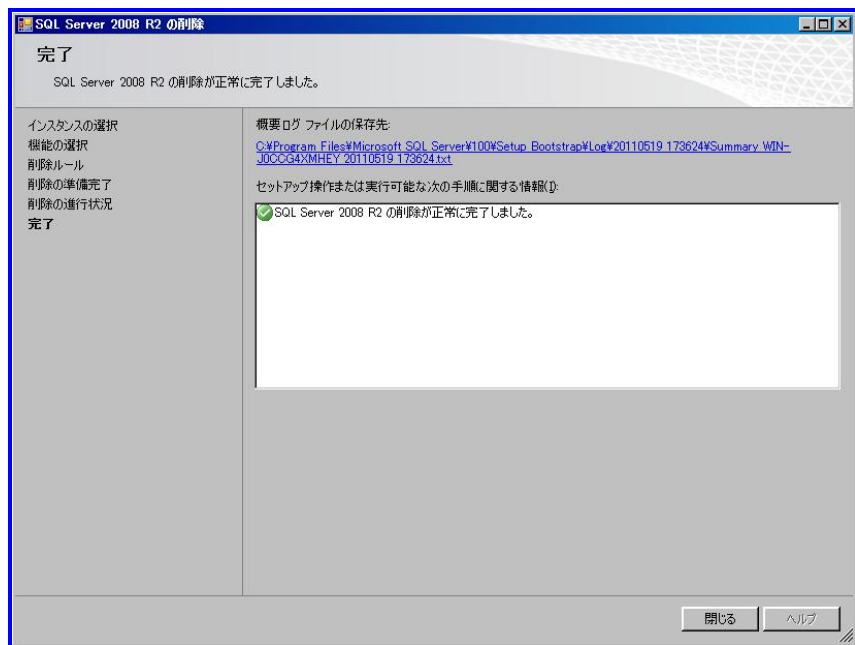


4 アンインストール

- (9) 「削除の準備完了」画面が表示されますので、「削除」ボタンをクリックします。SQL Server 2008 R2 製品版のアンインストールが始まります。



- (10) SQL Server 2008 R2 製品版のアンインストールが完了すると、「完了」画面が表示されますので、「閉じる」ボタンをクリックします。



(11) 手順(3)で確認したレジストリの「データ」値の配下のフォルダをすべて削除します。

- ・キー:

- 64ビットOSへ32ビットSQLをインストールしている場合:

- HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Wow6432Node¥NEC¥DeploymentManager_DB

- 上記以外の場合:

- HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥NEC¥DeploymentManager_DB

- ・名前: DBInstallDir

- ・データ: <DPMDBIインスタンスインストールフォルダ>¥MSSQL¥DATA

- 例): C:¥Program Files¥Microsoft SQL Server¥MSSQL10_50.DPMDBI¥MSSQL¥DATA

以上で、データベース(DPMDBIインスタンス)のアンインストールは完了です。